



2023年4月5日
仙台国際空港株式会社

仙台空港 2022年度旅客数・貨物取扱量実績(速報値)

仙台国際空港株式会社(所在地:宮城県名取市、代表取締役社長:鳥羽 明門)では、2022年度(2022年4月~2023年3月)の航空旅客数・貨物取扱量(速報値)をとりまとめましたのでお知らせします。

1. 2022年度航空旅客数(速報値)

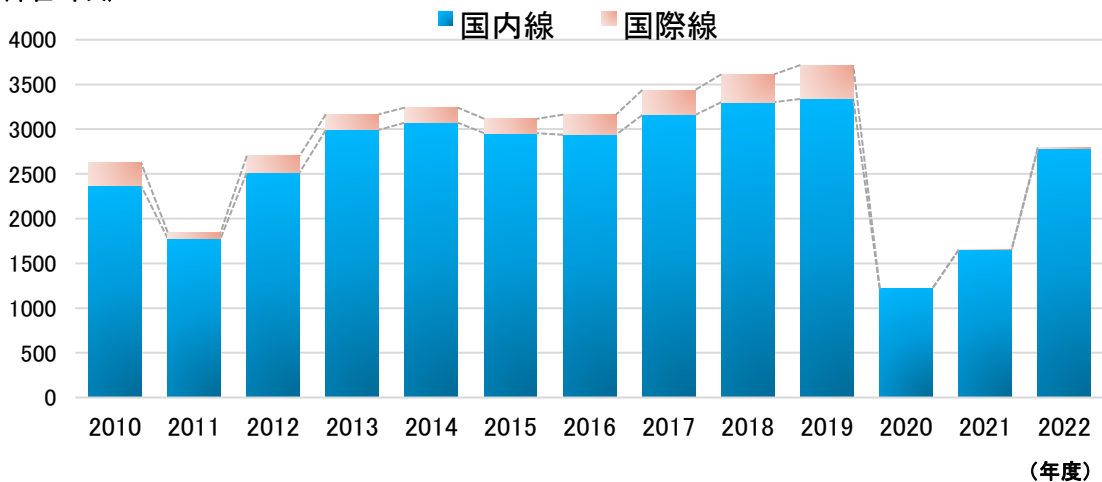
年間を通じた緊急事態宣言の見送り、行動制限の緩和による国内需要の回復、年末年始以降の国際線の再開により、国内・国際線旅客ともに前年度実績を大幅に上回った。

(単位:人)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (速報値)	対前年 (増減)	対前年 (増減率)
国内線	3,339,002	1,217,890	1,651,407	2,778,740	+1,127,333	+68.2%
国際線	379,178	0	2	15,172	+15,170	—
合計	3,718,180	1,217,890	1,651,409	2,793,912	+1,142,503	+69.1%

(単位:千人)

仙台空港 旅客数の推移



(単位:人)

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
国内線	2,363,415	1,776,717	2,513,227	2,989,413	3,072,541	2,954,079	2,937,046	3,158,572	3,301,361	3,339,002	1,217,890	1,651,407	2,778,740
国際線	258,872	69,246	186,421	175,202	167,029	160,169	225,551	280,667	311,377	379,178	0	2	15,172
合計	2,622,287	1,845,963	2,699,648	3,164,615	3,239,570	3,114,248	3,162,597	3,439,239	3,612,738	3,718,180	1,217,890	1,651,409	2,793,912



2. 2022年度貨物取扱量(速報値)

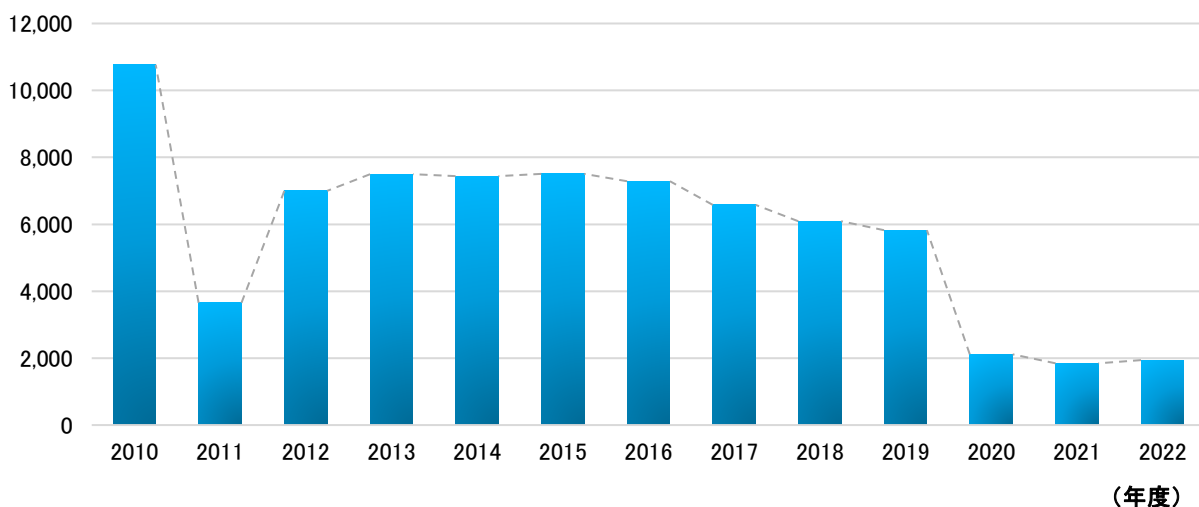
就航機材の小型化傾向は続いているものの、定期便搭載スペースの有効活用、成田空港への転送貨物および仙台港との連携による海上貨物の継続的な取扱いにより、国内・国際貨物ともに前年度を上回った。

(単位:t)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (速報値)	対前年 (増減)	対前年 (増減率)
国内貨物	5,821	2,117	1,848	1,947	+99	+5.3%
国際貨物	996	755	797	811	+14	+1.7%
合計	6,817	2,872	2,645	2,758	+113	+4.2%

国内貨物取扱量の推移

(単位:t)



国際貨物取扱量の推移

(単位:t)

